

# 平成22年4月末 変額保険（特別勘定）の現況

## 当月の運用環境

### 【国内株式】

11,100円台の水準で始まった日経平均株価は、月初、円安と好調な海外経済指標の発表を受けて上昇基調となりましたが、ギリシャ財政問題や中国人民元切り上げに対する懸念から11,300円台でもみ合いとなりました。その後19日にゴールドマンサックスが米国証券取引委員会から提訴されたことで金融株を中心に株価は大幅下落となり、日経平均は11,000円台を割り込みました。下旬にかけては、好調な企業業績とギリシャ懸念という強弱の材料により11,000円を挟んで上下する展開となりましたが、結局前月末比0.29%下落の11,057円で月末を迎えました。

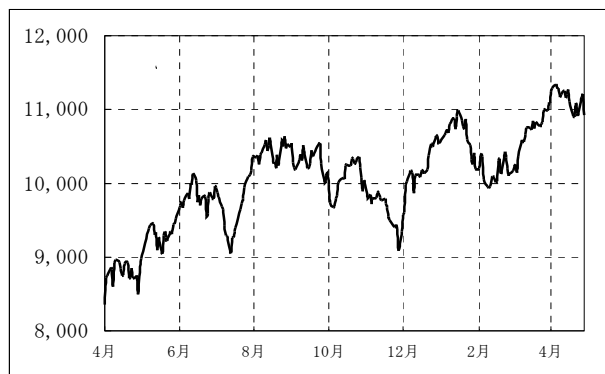
### 【国内金利】

1.40%前後の水準で始まった10年国債利回りは、月前半は概ね1.3%台後半での取引が続きましたが、中旬に入り超長期債を中心に投資家の買いが入り金利は低下基調となり、10年国債利回りは1.3%台前半まで低下しました。その後、ゴールドマンサックス提訴の報道と、ギリシャをはじめとする欧州周辺国に対する懸念の高まりからリスク回避の債券購入の動きが加速して金利は低下を続け、結局10年国債利回りは1.28%近辺の水準で月末を迎えました。

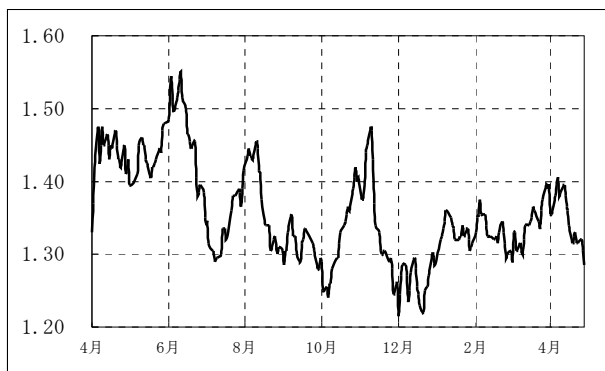
### 【為替】

ドル円為替相場は93円台の水準から始まり、月初、米国雇用統計の改善により94円台後半までドル高円安が進みました。その後はギリシャ財政赤字懸念によるユーロ安の影響や中国の人民元切り上げ観測、ゴールドマン・サックス訴追の問題から91円台までの円高ドル安となりましたが、下旬に入り米国景気回復期待を背景にドル円相場は再び緩やかなドル高となり、結局94円近辺で4月の取引を終えました。

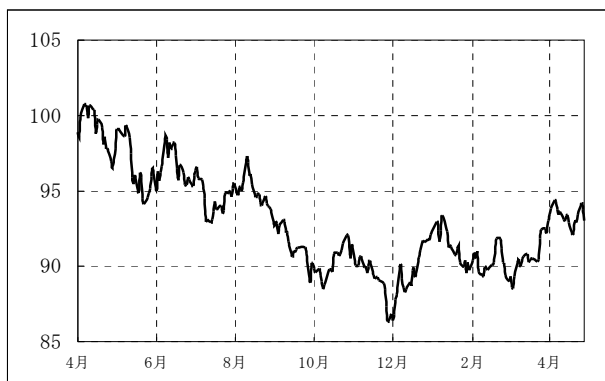
日経平均株価



10年国債利回り



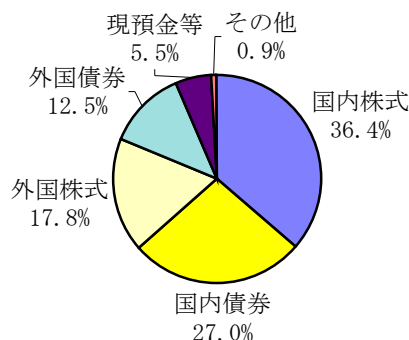
ドル円レート（対顧客電信仲値）



## 当月の運用経過

今月は資産配分の変更は見送りました。また、前月末対比での資産価格の変動も限定的であったため、前月末比で国内株式は36.4%（-0.2%）、外国株式17.8%（+0.1%）となり、国内債券及び外国債券の構成比は前月末比変わらずのそれぞれ27.0%、12.5%となりました。

当月末資産時価構成比



## 資産別運用状況

資産区分	平成22年4月末		22年度 計 画	計画差異	今後の方針
	金 額 (百万円)	構成割合			
国 内 株 式	1,883	36.4%	35.0%	1.4%	オーバーウェイト継続
国 内 債 券	1,396	27.0%	25.0%	2.0%	ニュートラルまで圧縮
外 国 株 式	920	17.8%	18.0%	-0.2%	アンダーウェイト継続
外 国 債 券	647	12.5%	17.0%	-4.5%	ニュートラルまで引上
現 預 金 等	286	5.5%	5.0%	0.5%	ニュートラルまで圧縮
そ の 他	44	0.9%	-	0.9%	
合 計	5,179	100.0%	100.0%	0.0%	

\* 金額は百万円未満を切り捨てております。

\* オーバーウェイトとは計画の配分よりも構成割合が高い状態のことです。逆にアンダーウェイトは、計画より構成割合が低い状態を、また、ニュートラルはほぼ計画どおりの割合の場合を表します。

### 【国内株式】

前月に比べ、情報・通信業、保険業の割合を高める一方、電気・ガス業、卸売業のウェイトを引き下げました。

### 【国内債券】

前月のポートフォリオを維持したことにより、国債、事業債の構成割合は、ほぼ前月と同じになりました。

#### 国内株式保有上位5銘柄

	銘 柄	業 種	組入比率
1	三菱UFJフィナンシャル	銀行業	4.23%
2	NTTドコモ	情報・通信業	3.70%
3	日本電信電話	情報・通信業	3.27%
4	キヤノン	電気機器	2.68%
5	東日本旅客鉄道	陸運業	2.57%

国内株式の運用は「大和住銀日本株式ファンドVA」を活用して行っております。

#### 国内債券種類別構成比

	当月末	前月末
国債	48.8%	48.7%
事業債	51.2%	51.3%
合計	100.00%	100.00%

### 【外国株式】

アメリカ、イギリス株式の組入れ割合が上昇する一方フランス、イタリアの割合が低下しました。また、その他地域の組み入れ比率が減少しました。

#### 外国株式地域別構成比

	当月末	前月末
北米	60.9%	59.8%
欧州	32.6%	33.3%
アジア・オセアニア	6.5%	6.9%
その他	-	-
合計	100.0%	100.0%

外国株式の運用は「ステート・ストリート グローバル・アセット・ファンド」を活用して行っております。

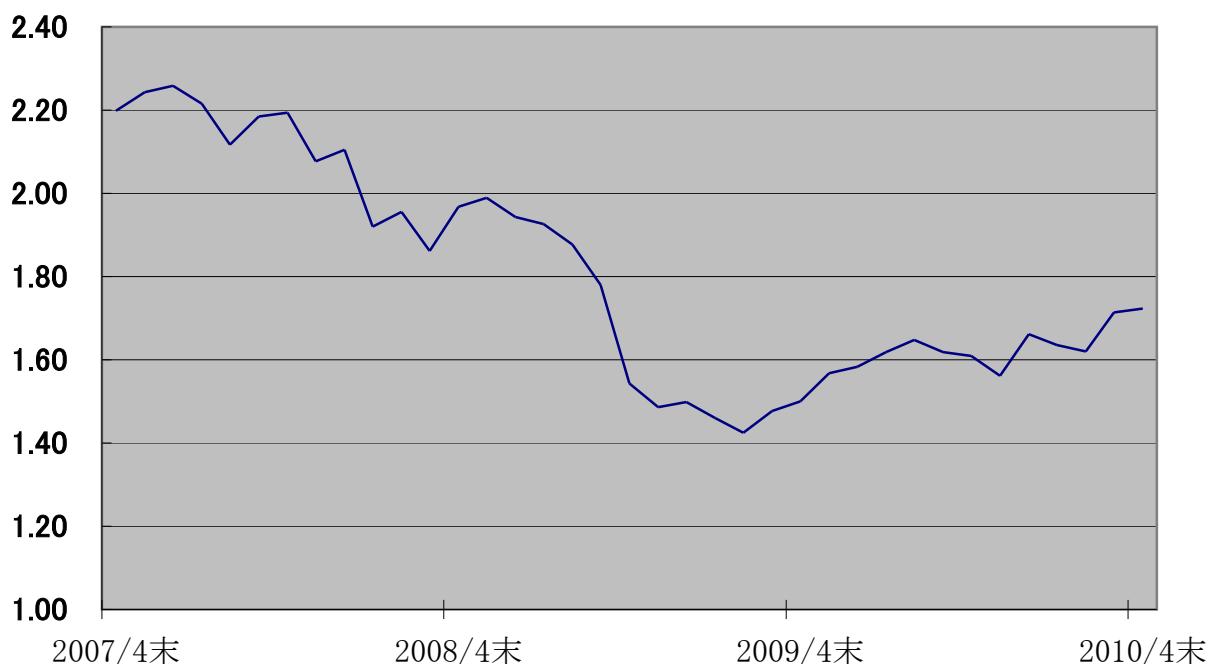
### 【外国債券】

前月のポートフォリオを維持しましたが、ユーロ安が進行したことからユーロ建債の構成割合が、若干低下しました。

#### 外国債券通貨別構成比

	当月末	前月末
US\$	53.7%	53.3%
EURO	46.3%	46.7%
合計	100.00%	100.00%

## 変額保険インデックスの推移



当月末インデックス	インデックス伸び率				
	1ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
1.7226729329	0.51%	7.10%	14.83%	-12.47%	-21.61%
	—	—	—	-6.44%	-7.80%

※下段の数値は、年複利利回りです。

注1) インデックスとは特別勘定の運用実績を指数化したもので、設定時を「1」としています。なお、この運用実績は保険料から死亡保障等に充てられる部分を控除したものの伸び率です。

注2) 上記数値は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。